

学校の教育目標	心豊かでやさしい子	よく考え表現する子	体をきたえ元気な子
----------------	-----------	-----------	-----------

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 課題の解決に必要な知識・技能を発揮するとともに、地域のよさや特徴に気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- 2 地域の実社会・実生活の問題から課題を見出し、その解決に向けて情報を集め、考えたことを根拠をもってまとめ、相手や目的に応じて、表現する力を身に付ける。
- 3 主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために、自ら社会に参画できる態度を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
<small>・地域社会には伝統的に文化や自然を守る様々な仕組みがあることを理解している。(多様性) ・社会にはさまざまな立場の人たちが生活しており、共に生きるための様々な社会の仕組みがあることを理解している。(連携性) ・課題を解決するための方法を考え、資料の情報を読み取る。</small>	<small>・自然環境は様々な要因で常に変化する可能性があり、一定ではないことを理解している。(有限性) ・町の防災対策には自助・共助の仕組みがあり、人々が様々な工夫や努力をしていることを理解している。(責任制) ・人々の思いや願い、工夫や努力を知る。</small>
思考力、判断力、表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
<small>・日常生活の中から課題を発見し、設定する。 ・地域の人の関わりから情報を収集する。 ・情報を比較したり関連付けたりして考える。 ・相手や目的に応じてまとめ、表現する。</small>	<small>・問題状況の中から課題を設定し、見直しをもって計画をたてる。 ・手段を選択し、情報を収集する。 ・必要に応じて考えるための技法を用いて分析する。 ・相手や目的に応じて分かりやすい手段を選び、まとめ、表現する。</small>
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
<small>・目標をもって友達と協働して課題を解決する。 ・友達の考えを受け入れ、意思決定をする。 ・自分の生活を見直し、考えたことを実践する。</small>	<small>・異なる意見や他者の考えを受け入れ、自己の行為について振り返る。 ・課題の解決に向けて地域の活動に自ら参加し、協力する。 ・将来を考え、希望をもって建設的な行動を試みる。</small>

内容	学習対象	学習事項
第3学年	・小松菜栽培や桜守活動等、江戸川区の自然を継承することに力を注ぐ	・地域の一員として、文化や自然を守り受け継ごうとする活動や取組 ・地域の一員として、文化や自然を継承するために力を注ぐ人々の思い
第4学年	・江戸川区で生活する様々な立場の人たちを支援するために力を注ぐ人々や組織	・住みよい地域にするための様々な取組 ・住みよい地域にするために力を注ぐ人々の思い
第5学年	・校内田を活用した稲作栽培から考える自然環境と環境問題	・稲作栽培への取組 ・環境問題と自分たちの生活との関わり
第6学年	・小岩地域の防災対策とそれらを担う人々	・江戸川区や地域の町会の防災への取組 ・防災対策に力を注ぐ人々の思い ・自分たちのできる地域での防災対策

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3年生は地域、4年生は福祉、5年生は環境、6年生は防災を主なテーマとする。 ・稲作体験は5年の帯単元として実施する。 ・開校70周年関連の活動を各教科との関連をさせながら実施する。	・各教科との関連的な指導の重視(特に読書科) ・児童の課題意識を発展させる支援 ・ゲストティーチャーの積極的な活用	・学年での統一した指導の重視 ・地域教育力と人材バンクの効果的運用	・指導と評価の一体化の充実 ・個人内評価の重視 ・学期末、学年末の指導計画の評価の実施